

授業科目 社会福祉原論Ⅰ

【担当教員名】 横山豊治	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

<概要>
社会福祉の基礎理論および社会福祉学の方法論について、形成過程および現在の到達点と今後の課題など社会福祉に関する基本的事項をとりあげて検討する。

<学習目標>
1. 社会福祉とは何かを理解する。
2. 社会福祉学とは何かを理解する。
3. 社会福祉の発達の歴史を理解する。
4. 社会福祉の援助対象とニーズを理解する。
5. 社会福祉の制度と行財政の概要を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	S80	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	社会福祉の基礎理論① 概念と枠組み・関連諸施策		講義
2	社会福祉の基礎理論② 社会福祉の思想と倫理①		講義
3	社会福祉の基礎理論③ 社会福祉の思想と倫理②		講義
4	社会福祉の歴史① 日本における社会福祉の発達史①		講義
5	社会福祉の歴史② 日本における社会福祉の発達史②		講義
6	社会福祉の歴史③ 日本における社会福祉の発達史③		講義
7	社会福祉の歴史④ 欧米における社会福祉の発達史①		講義
8	社会福祉の歴史⑤ 欧米における社会福祉の発達史②		講義
9	社会福祉の歴史⑥ 欧米における社会福祉の発達史③		講義
10	社会福祉の援助対象と福祉ニーズ① 援助対象		講義
11	社会福祉の援助対象と福祉ニーズ② 社会福祉のニーズ		講義
12	社会福祉の制度と行財政① 制度体系と主要な法制度		講義
13	社会福祉の制度と行財政② 行政と財政		講義
14	社会福祉の制度と行財政③ 民間福祉活動		講義
15	試験		試験

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	新版社会福祉士養成講座①『社会福祉原論』	阿部志郎ほか	中央法規	2006年 2500円
参考書	随時紹介する			
その他の資料	適宜、印刷資料を配布する			

【評価方法】 開講中に数回行う「小テスト」の提出状況と定期試験の結果を総合して成績の評価を行う。	【履修上の留意点】 社会福祉学全体の基盤をなす科目であり、社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験科目でもあるので、1年次のうちにその内容に関心を深め、教科書以外にも関連図書などを用いて自主的に学習をする習慣を身につけること。
---	--

社会福祉学科 専門